

令和5年度 第3回山城地方 学力向上対策会議 を開催しました！



令和5年度第3回山城地方学力向上対策会議を開催し、「全国学力・学習状況調査」「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」における山城教育局管内小中学校の結果の分析、活用について交流・協議を行いました。また、他にも「山城地方教育実践フォーラム」の具体的な運営方法や「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」の実施内容について協議を行いました。

- 1 日時 令和5年10月30日（月）午後3時から同5時まで
- 2 場所 京都府田辺総合庁舎保健所棟 講堂
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 23名
- 4 概要

「令和5年度全国学力・学習状況調査」「令和5年度京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート」の結果の分析、活用について交流・協議しました。

○山城教育局管内の小中学校の結果について、京都府平均値や全国平均値との比較、過去5回（6年間）の推移、質問紙回答における回答状況等、成果と課題を交流・協議しました。

学力状況の結果より

- ◇山城教育局の平均正答率は、小学校中学校共にいずれの教科においても、全国平均正答率との比較ではほぼ同水準、京都府平均正答率との比較では若干下回る結果となった。
- ◇中学校の数学は、近年平均正答率との差が広がり課題が見られていたが、今年度は全国の平均正答率とほぼ同水準の状況となった。
- ◇中学校の英語は、前回の調査（平成31年度実施）より全国の平均正答率には近づいたものの、京都府の平均正答率とは差が大きくなった。
- ◇誤答が多かった問題に着目すると、「自ら課題・問いを設定すること」や「問いや課題を明確にし、その解決に向けて学びを自己調整・見通しを持つこと」が課題として挙げられる。やましろ授業スタンダードで示す「自ら学びをマネジメントする力」につながるものである。
- ◇また、「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすること」や「示された日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断すること」など、自らの知識や経験、生活等につなげ考える力に課題が見られ、「学びをまとめ、振り返る力」の一層の充実が求められる。

児童生徒質問紙調査結果より

◇学習の興味・関心に関する項目について

- ・国語や算数・数学の「勉強は好き」と肯定的な回答した児童生徒の割合は、6割に満たない。
- ・「勉強は大切」「社会に出た時に役に立つ」と感じている児童生徒の割合は、9割を超えている。
- ・「授業の内容はよくわかる」と感じている児童生徒の割合は、7割～8割。また、「授業の内容はよくわかる」と感じている児童生徒ほど、「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた」と感じている割合が高くなる傾向が見られた。

京都府学力・学習状況調査における山城教育局で見られた傾向

◇「学力ステップ」は、府平均とほぼ同じ状況である。

◇学力と相関関係が見られた質問項目

「学びに対する積極性」「表層理解」「主体的・対話的で深い学び」

◇質問項目間の相関関係が見られた項目

「自己調整」「学びに対する積極性」と「体制化」「精緻化」

「主体的・対話的で深い学び」と「自己調整」

◇やましろ授業スタンダードで示す「自ら学びをマネジメントする力」を育むことを今後も大切にしていく。

「山城地方教育実践フォーラム」(精華町立山田荘小学校・木津川市立木津中学校 <11月14日(火)>)の詳細について検討・確認しました。

○参加者による主体的な交流協議になるよう、その内容・方法について検討・確認しました。

- ・「やましろ授業スタンダードを活用した『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業づくりについて、自己の実践を振り返り、協働的な学びを通じて深める」というテーマを設定。公開授業を参観し、ワークショップにて協議する。授業改善のポイントやイメージについて、参加者が協働的に学び合うようにする。
- ・公開授業の参観スペースやワークショップ会場スペース等を踏まえ、参加者の希望に沿いながら公開授業・ワークショップの参加人数を調整する。

「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」<2/13(火)>について検討・確認しました。

○実践交流会の日程や内容を確認しました。また、分散会Ⅱの持ち方について協議しました。

- ・分散会Ⅰでは、実践事例集32集の掲載校11校に4つのグループに分かれて発表してもらう。発表後の協議の時間を確保する。
- ・分散会Ⅱでは、昨年度まで行っていた授業動画をベースにした協議を取りやめ、参加者が自校の研究について交流し、次年度の方向性等、各学校の研究実践について協議する時間としてはどうか、また、「学びのパスポート」の分析結果の活用について取り上げてはどうか等の意見があった。

○実施要項については、後日事務局で意見を取りまとめた上、対策会議員で確認することとしました。